

平成13年4月2日  
第四管区海上保安本部水路部

# 海洋概報（平成13年第3号）

（伊勢湾流況調査）

## 1 調査概要

調査期間	流況調査	：平成13年3月13日	
	流況調査	：平成13年3月27日	
調査海域	伊勢湾		
	別図「流況調査 測点」参照		
調査船	測量船「いせしお」		
現地調査員	水路部水路課専門官	米須 清	
	〃 〃 測量係長	瀬田 英憲	
	〃 〃 海象係長	木村 琢磨	
	測量船「いせしお」船長	山本 常夫	
	〃 機関長	石原 信雄	
	〃 航海士補	渡部 千尋	
	〃 機関士補	福嶋 力	
	京都大学助手	笠井 亮秀	
	〃 大学院生	野田 稔子	
	〃 学生	赤嶺 里美	
	〃 〃	小林 志保	
調査項目	流況調査	：水温・塩分	
資料整理	海象係長	木村 琢磨	

## 2 観測経過

3月13日は、北西風が非常に強く海上模様が悪かったため、甲板作業に苦慮したが全測点の観測を実施することができた。

3月27日は、天候・海上模様とも良く全測点の観測を実施することができた。

### 3 海況（成果は別図参照）

3月13日から27日の間で、随分と成層状態への移行が進んでいた。

#### 流況調査（伊勢湾）

3月13日

水温： St.1 付近が上層～底層まで、平年にくらべ1 程度高かったが、その他の地点はほぼ平年並みであった。

塩分： St.2・3の上層付近及び St.6・7の上層～底層がほぼ平年並みであったが、その他の地点は、平年にくらべ1程度低かった。

3月27日

水温： St.1～3の下層は、平年にくらべ2 程度高く、その他の地点は1 程度高かった。

塩分： St.1～4の下層は、ほぼ平年並みであったが、その他の地点は、平年にくらべ1程度低かった。

また、St.6の表面で低塩分水が存在していた。

3月13日と27日の比較

St.1～2、St.4、St.6～7の表層付近が高温低塩分水化していた。

St.2～3の下層及びSt.4の底層が高温高塩分水化していた。

全体的に高温水化していた。

\* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。